

会誌編集委員会

日本周産期メンタルヘルス学会会誌の編集にあたって、本学会からの学術発表の要として、また、会員のみならず広く本領域に携わる皆さんに評価していただける学会誌を目指して編纂業務を行っています。委員会の構成員は、渡邊（精神科医）、斧澤（心療内科医）、高田（助産・看護）、田口（精神科医）、竹内（精神科医）、富田（臨床心理士）、増田（助産・看護）、安田（精神科医）、吉内（精神科医）、吉田（産婦人科医）および私 佐藤（産婦人科医）の計 11 名です。

日本周産期メンタルヘルス学会会誌は、2014 年に初版を発行し、研究会から学会への移行を経て、会員の皆さまの積極的な投稿のおかげで順調に年 1 回発行しています。今後は、年 2 回発刊への増刊も目指して、より充実させたいと考えています。

本会誌が本邦における周産期メンタルヘルス領域研究の礎となり、また発信源となれるよう、上記の本務を忘れず、しかし広い門戸で学術論文をお待ちしています。日常臨床のなかで「めずらしい」「こんなこともあるのか」「予想外だった」「たいへんだった」の一言を発した事例は、そのまま症例報告論文の原資かもしれません。書き留めておくべき貴重な経験かもしれません。そして、次の 1 人を助ける礎かもしれません。その場として本誌をさらに活用していただくよう、職種を超えた多数の論文投稿をますます期待いたします。

委員長 佐藤昌司